

國學院大學 北海道短期大学部 学報

発行所
國學院大學
北海道短期大学部
〒073-0014
北海道滝川市
文京町三丁目1番1号
TEL
0125-23-4111(代)

平成二十八年年度

入学式

—二〇九名が入学—



四点について思いを述べられました。

①誇りをもって学ぶ ②今、この時を大切に ③実社会が求める教養と資格を身に付ける ④学校を使いこなす一ことを学生たちに求め、エールを送りました。

続いて、ご来賓の滝川市長 前田康吉様より祝辞をいただきました。

新入生を代表して国文学科の石橋沙耶花さん(滝川西高校卒)が「仲間と助け合い、励まし合いながら勉学に励むとともに、立派な学風を作り上げたい。」と宣誓しました。

平成二十八年年度入学式(第三十五回)が、四月十日に本学体育館において挙行政され、本科二〇五名、専攻科四名が入学しました。

今年の入学者は、国文学科六十七名、総合教養学科八十一名、幼児・児童教育学科五十七名、専攻科福祉専攻四名で、このうち北海道外出身者が六二・四パーセントの一二八名となりました。

式辞のなかで田村学長は、新入生に対して國學院大學の建学の精神について紹介された後に



新入生たちから



国文学科
齊藤 穂乃花

國學院大學北海道短期大学部に入学して五ヶ月が経ち、今までの学校生活を振り返ってみるとこの大学に入学して良かったと思うことが沢山あります。

入学当初は北海道という慣れない地での生活に不安しかなく、一人暮らしの大変さを実感しました。また、学校生活でも新しい友達との関係を築いていくという事への不安も多くありました。

そんな中でも、授業を受けていて感じたことがあります。それは、高校と同じように先生と学生との距離が近いという事です。教室の向かい側には先生方の研究室があり、いつでも相談などに行けるという環境に驚きました。他の大学ではあまりないこの環境は國短のとても良い所だと思えます。この環境を当たり前だと思わずに自分の学びに活かしたいです。まだ五ヶ月しか経っていないので、今後もっと沢山の國短の魅力を見つ

けられるように生活していきたいです。また、二年という短い短大生活もあと一年半しかない中で充実したものになるように勉強はもちろん、北海道生活も思いつきり満喫したいと思っています。



総合教養学科
浪川 弘太郎

私は、北海道での一人暮らしに不安と少しの期待を胸に、親元を離れました。一人暮らしという初めての経験はとても新鮮かつ大変でした。私は総合教養学科という多方面から物事を見たり考えたりする学科に所属しています。そして将来、私は国際的な仕事をしたいと考えているので、英語の授業を中心として履修しています。その中でも、ティム先生のライティング授業は基礎を大切にしながらいよいよレベルアップを行うのでとても充実しています。加えてスプリングフィールド大学への留学も予定しています。そこでは、海外の人達の学びに対する姿勢、コミュニケーションのとり方などを学びたいと考えています。また私は、より滝川を知り、より滝川の方々と交流するため積極的にボランティアに参加しています。そこで発見したことは滝川はとても自然豊かな地域であるとともに滝川の方々の絆が熱いことです。今後は滝川の方々とより関わりを深くし、学生会会長として学生企画などで滝川の方々と交流する機会を増やしたいです。



幼児・児童教育学科
幼児保育コース
今野 亜寿夏

私がこの大学に入学してからの学校生活は、毎日が怒涛のよう過ぎていきました。一日、一コマ九十分を一限目から多い日では五限目までを最初は長く大変だと感じたものの、今では当たり前になりつつあります。私の学科では主に、子供と関わるお仕事をするために、子供たちはその保護者を守る法律や、施設のことを中心とした授業、就職してすぐ実践できる音楽の基礎やピアノ、子どもの造形、体育の基礎などの授業。そして教養科目も勉強しています。どれもこれから私達が社会人として働いていくのに必要な知識でもあるのできちんと学んでいきます。授業は基本、机に向かって勉強すると言うよりも、自分の身体を使って表現することが多いです。人の前に立つことで、自分をさらけ出せるように日々努力しています。放課後は、週二回あるサークルに出たり、ピアノ室でピアノの練習をしたり、時には友達と自転車遊びに行ったりして、休日は図書館に行ったり、友達の家で課題をしたりしています。今後は、自分の目標達成に向けて、毎日の授業を実行のあるものにできるようにしたいと思っています。また、勉強だけでなく、二年間という短い短大生活を充実したものにしたいです。



幼児・児童教育学科
児童教育コース
徳永 神風

るために、サークル活動に積極的に参加したり、休日は友達と遊んだりたくさん楽しみたいと思っています。

國學院大學北海道短期大学部の周りには、学生用のアパート等も多く通学の時間もかからず勉強やサークル活動などに集中でき、生活に必要なスーパーやコンビニ、銀行等も近くにあるので、とても便利で生活がしやすい、とても安心して暮らせる環境でした。サークルに入りすぐに先輩や他学科の友達もできました。

私は、現在学生会に入り、副会長をやらせてもらっています。活動は主に年間行事の実行などです。またサークルの先輩や友達同士でテスト勉強を教え合ったり、先輩方との交流もあるのですが、就職活動や進路などのアドバイスがもらえるのも良いです。一人暮らしは自分の好きなことが自由にできることが楽しいです。今まで親に頼ってきた分、家事は慣れなくて大変でしたが、日が過ぎるにつれて一つ一つできるようになり、良かったと思っています。一人暮らしをすることで自然と積極性がでて、物事に積極的に取り組むようになりました。最初は不安でしたが、慣れていくと楽しいものに代わり、充実した日々が送れています。二年間滝川で楽しく勉強に励みたいです。



専攻科福祉専攻
原田 美佳

専攻科福祉専攻に入学して五ヶ月が経ちました。今年度は、四人しかいなくて寂しい感じもありますが、一緒にお昼を食べたり、休み時間におしゃべりをしたりしてコミュニケーションをとり自分たちの目標に向かって毎日楽しく過ごしています。

護福祉士は専門職なので、授業の内容も難しく学ぶことがたくさんあります。ただ座って先生の話を聞いているのではなく、教科書にマーカーを引いたり、自分なりにノートをとったり積極的に発言し、きちんと授業を受ける姿勢で授業を受けています。予習・復習も大切なので家に帰ってから予習・復習も行うようにしています。

七月には施設実習がありました。そこではコミュニケーションのとり方や利用者さん一人ひとりにあった支援の仕方などを学ぶことができました。十月には六週間の施設実習があります。七月の施設実習で学んだこと、反省点などを活かしながら六週間の施設実習を行って行きたいと思っています。

平成二十八年度 特待生・奨学生決定

六月三十日、学長室において特待生・奨学生証書授与式が行われました。

学長から各学科の特待生・奨学生に対し、一人ひとりに証書が授与されました。

○特待生

【国文学科】兼俣直毅(千葉県・検見川高校) 【総合教養学科】織田琳華(北海道札幌啓成高校) 【幼児・児童教育学科】丸山らん(神奈川県・氷取沢高校)

○奨学生

【国文学科】大川みなみ(鹿児島県・鹿児島高校)、大井勇輝(千葉県・西武台千葉高校) 【総合教養学科】丸子祐太郎(千葉県・昌平高校)、渡辺夢菜(北



海道滝川西高校) 【幼児・児童教育学科】泉七虹(北海道滝川西高校)、佐々木恒斉(秋田県・横手高校)

地域連携協議会開催

七月二十五日(月)午後一時から「國學院大學北海道短期大学部」に関する地域連携協議会が、開学記念館大会議室で開催された。

当日は、滝川市から前田市長、千田副市長、滝川商工会議所から藤井会長、法人本部から坂口理事長、佐柳常務理事(本短期大学部担当理事)、本短期大学部から田村学長の各委員と協議会事務局を構成する市・会議所、本短期大学部の関係者が出席した。

前田市長から「今年の入学者が二百人を超えた。市民を対象とした修学奨励金制度の改革も効果が見られた。今後より人材の連携強化により、地域人材の養成と受入れを実現したい。」と挨拶。

藤井会長は「入学者の増加は市にとっても大きな経済効果が期待できる。地域の活性化・人口減少対策となる地域人材の受入れに努力したい。」と挨拶。

坂口理事長は「二百二十五人の入学定員には達しなかったが、二百人超えの入学者を迎えられる。ご支援ご協力に感謝する。法人としても地域人材の養成に協力する意味で豊かな地域人材養成奨励制度の対象となった編入学者向けの奨励制度を創設した。出口対策の確立に協力をお願いしたい。また、道内からの入学者増加対策として市内からの入学者を確保に一層の支援をお願いしたい。」と挨拶。

この後、議案次第に従って、平成二十七年事業の取組み内容と結果の報告があり、了承された。

平成二十八年度 父母会支部総会開催

本学父母会(藤原隆幸会長の支部総会が、八月二十七日(土)道央第一支部(滝川)をかわきりに、九月十日(土)・十一日(日)道外第二支部(東京・渋谷)まで全国九支部九会場で行われた。

支部総会では六月十九日に開催された総会の結果、会の動静、大学の現状などが報告された。

また、支部総会の終了後に、大学から出席した教員と父母とによる個人面談が行われた。このなかでは学生の成績や出席状況、学内での生活ぶりなどについて情報提供が行われ、また父母からは編入学や就職など進路についての相談等がよせられ、学生個々の大学生活について理解を深めてもらった。



今回行われた各支部総会であつた大学や父母会への意見・要望は、十月八日(土)に開催される父母会支部交流会にて報告・協議される。

支部名	開催日	会場
道央第一支部	8月27日(土)	國學院大學北海道短期大学
道央第二支部	8月28日(日)	北海道神宮 頓宮
道東第一支部	8月28日(日)	帯広グランドホテル(旧)
道東第二支部	8月27日(土)	釧路プリンスホテル
道東第三支部	9月3日(土)	北海道北見柏陽高等学校
道北支部	9月4日(日)	旭川トヨーホテル
道南支部	9月3日(土)	ホテル函館ロイヤル
道外第一支部	9月4日(日)	ホテルレオパレス仙台
道外第二支部	9月10日(土)・11日(日)	國學院大學 渋谷キャンパス

平成二十九年入学試験要項決まる

平成二十九年入学試験要項が確定しました。前年度からの変更点を中心にお知らせいたします。

① 幼児・児童教育学科のコース設定を、平成二十九年から

統廃合し、「幼児保育コース」「児童教育コース」の二コース制とします。従来の「福祉介護コース」は「幼児保育コース」に統合し、「介護福祉士」国家試験受験資格を希望する者は、「幼

（特別指定校制学校推薦）
・特別指定校制学校推薦の選考回数を増やします。
・第Ⅰ期選考の面接会場に、札幌・帯広・北見を増設し受験生の利便性を図りました。
・選考回数毎に、面接会場の設定をすみ分けしました。
・特別指定校制学校推薦は、従来滝川会場及び東京渋谷会場で複数回実施してきましたが、十

一月上旬に実施する第Ⅰ期選考を、北海道内四会場の設定とし、オホーツク地区・十勝地区・根釧地区受験生がそれぞれの地区で受験可能となりました。
また、本学への進学者が多い関東地区を対象とした第Ⅱ期選考は、國學院大學渋谷キャンパスを会場十二月中旬に実施します。

たときは入試広報室にお問い合わせください。
入試要項は無料配布（送料無料）しております。本学ホームページからお電話でご請求ください。

高校生等を対象とした入試広報としての「オープンスクール」を実施しました。

七月二十八日・二十九日の二日間、今年度初の試みとして、高校生を対象とした「オープンスクール（授業開放）」を実施しました。

この企画は、高校生や高校の先生等に本学の通常の授業に参加し、聴講してもらうことで、科目毎の内容や、学ぶ学生の雰囲気等、本学のナマの姿を感じ取り、理解を深めてもらうことを目的に今年度初めて実施したものです。

一日目は二十八科目、二日目は三十一科目が開かれ、合計九名の高校生が参加されました。主に近隣の高校生でしたが、遠く北海道外からの参加者もありました。

高校の授業とは違う専門性の高い内容と、九十分間の短大の授業には、高校生が参加して好印象を持ってもらえたのか、多少不安もありましたが、参加者皆真剣に聞き入っていました。

参加した高校生は、「内容は高度で、難しかったが、先輩の学生達の学ぶ姿を見て、自分も授業の内容に引き込まれました。是非入学したい。」と感想を話していました。

オープンキャンパスとオープンスクールの二本立ての入試広報企画は、開催時期等を精査のうえ、次年度以降続けられるものと思います。

その他制度として、従来通り「自己推薦入試」「社会人・帰国子女特別入試」「ありす会特別入試」「日本語に関する基礎知識を問う入試」「國學院大學との併願型入試」を行うとともに、様々な入試制度を揃え、多様な優秀な学生の入学を目指してまいります。どの入試制度が自身に適しているのか、迷つ

入試方法			出願期間	選考日	合否発表日	入学手続期間	選考会場
短期大学部の入試	推薦入試	高等専攻学校推薦Ⅰ期	平成28年10月10日(月)～10月28日(金) 願書必着	平成28年11月5日(土)	平成28年11月12日(土)	平成28年11月14日(月)～11月21日(月) 必着	本学 札幌・北見・帯広
		高等専攻学校推薦Ⅱ期	平成28年10月10日(月)～12月6日(火) 願書必着	平成28年12月10日(土)	平成28年12月17日(土)	平成28年12月19日(月)～平成29年1月6日(金) 必着	國學院大學(東京)
		高等専攻学校推薦Ⅲ期	平成29年1月10日(火)～1月31日(火) 願書必着	平成29年2月4日(土)	平成29年2月11日(土)	平成29年2月13日(月)～平成29年2月20日(月) 必着	國學院大學(東京)
		指定校制学校推薦Ⅰ期	平成28年10月19日(水)～11月9日(水) 願書必着	平成28年11月12日(土)	平成28年11月19日(土)	平成28年11月21日(月)～11月28日(月) 必着	-
		指定校制学校推薦Ⅱ期	平成29年1月10日(火)～1月31日(火) 願書必着	平成29年2月4日(土)	平成29年2月11日(土)	平成29年2月13日(月)～2月20日(月) 必着	-
		公募制学校推薦	平成28年11月21日(月)～12月6日(火) 願書必着	平成28年12月10日(土)	平成28年12月17日(土)	平成28年12月19日(月)～平成29年1月6日(金) 必着	本学 國學院大學(東京)
	自己推薦	自己推薦Ⅰ期	平成28年10月10日(月)～10月28日(金) 願書必着	平成28年11月5日(土)	平成28年11月12日(土)	平成28年11月14日(月)～11月21日(月) 必着	本学 國學院大學(東京)
		自己推薦Ⅱ期	平成28年11月21日(月)～12月6日(火) 願書必着	平成28年12月10日(土)	平成28年12月17日(土)	平成28年12月19日(月)～平成29年1月6日(金) 必着	本学 國學院大學(東京)
		自己推薦Ⅲ期	平成29年1月10日(火)～1月31日(火) 願書必着	平成29年2月4日(土)	平成29年2月11日(土)	平成29年2月13日(月)～2月20日(月) 必着	本学 國學院大學(東京)
		自己推薦Ⅳ期	平成29年2月6日(月)～2月23日(木) 願書必着	平成29年2月26日(日)	平成29年3月4日(土)	平成29年3月6日(月)～3月13日(月) 必着	本学 國學院大學(東京)
		自己推薦Ⅴ期	平成29年2月28日(火)～3月14日(火) 願書必着	平成29年3月17日(金)	平成29年3月21日(火)	平成29年3月22日(水)～3月29日(水) 必着	本学 國學院大學(東京)
		自己推薦Ⅵ期	平成29年3月6日(月)～3月25日(土) 願書必着	平成29年3月28日(火)	平成29年3月29日(水)	平成29年3月30日(木)～4月4日(火) 必着	本学 國學院大學(東京)
	日本語に関する基礎知識を問う入試		平成29年2月28日(火)～3月14日(火) 願書必着	平成29年3月17日(金)	平成29年3月21日(火)	平成29年3月22日(水)～3月29日(水) 必着	本学 國學院大學(東京)
	特別入試	社会人・帰国子女特別入試Ⅰ期(社会人入学者奨学生第一種対応)	平成28年10月10日(月)～10月28日(金) 願書必着	平成28年11月5日(土)	平成28年11月12日(土)	平成28年11月14日(月)～11月21日(月) 必着	本学
		社会人・帰国子女特別入試Ⅱ期(社会人入学者奨学生第二種対応)	平成29年1月10日(火)～1月31日(火) 願書必着	平成29年2月4日(土)	平成29年2月11日(土)	平成29年2月13日(月)～2月20日(月) 必着	本学
		社会人・帰国子女特別入試Ⅲ期(社会人入学者奨学生第二種対応)	平成29年2月28日(火)～3月14日(火) 願書必着	平成29年3月17日(金)	平成29年3月21日(火)	平成29年3月22日(水)～3月29日(水) 必着	本学
		ありす会特別入試Ⅰ期	平成28年10月10日(月)～10月28日(金) 願書必着	平成28年11月5日(土)	平成28年11月12日(土)	平成28年11月14日(月)～11月21日(月) 必着	本学
國學院大學との併願型入試	併願型入試	併願型Ⅰ期	平成28年10月19日(水)～11月9日(水) 願書必着	平成28年11月12日(土)	平成28年11月19日(土)	平成28年11月21日(月)～11月28日(月) 必着	本学 國學院大學(東京)
		併願型Ⅱ期	平成28年11月21日(月)～12月6日(火) 願書必着	平成28年12月10日(土)	平成28年12月17日(土)	平成28年12月19日(月)～平成29年1月6日(金) 必着	本学 國學院大學(東京)
		併願型Ⅲ期	平成29年2月6日(月)～2月23日(木) 願書必着	平成29年2月26日(日)	平成29年3月4日(土)	平成29年3月6日(月)～3月13日(月) 必着	-
		併願型Ⅳ期	平成29年2月28日(火)～3月14日(火) 願書必着	平成29年3月17日(金)	平成29年3月21日(火)	平成29年3月22日(水)～3月29日(水) 必着	-
		併願型Ⅴ期	平成29年3月6日(月)～3月25日(土) 願書必着	平成29年3月28日(火)	平成29年3月29日(水)	平成29年3月30日(木)～4月4日(火) 必着	-
	大学入試センター試験利用入試Ⅰ期		平成29年2月6日(月)～2月23日(木) 願書必着	平成29年3月4日(土)	平成29年3月6日(月)～3月13日(月) 必着	平成29年3月22日(水)～3月29日(水) 必着	-
	大学入試センター試験利用入試Ⅱ期		平成29年2月28日(火)～3月14日(火) 願書必着	平成29年3月21日(火)	平成29年3月22日(水)～3月29日(水) 必着	平成29年3月30日(木)～4月4日(火) 必着	-
	大学入試センター試験利用入試Ⅲ期		平成29年3月6日(月)～3月25日(土) 願書必着	平成29年3月29日(水)	平成29年3月30日(木)～4月4日(火) 必着	-	-
				平成29年1月14日(土)・15日(日) 大学入試センター試験			

（公募制学校推薦）
・公募制学校推薦の選考回数を、二回から一回へと変更しました。

（AO入学試験）
・AO入学試験に給付型奨学金を設定しました。

授業アンケートと 授業改善への取り組み

FDは、基本的には教員の個人的な能力を発展させることにある。たとえば、良質な教育に求められる教員の資質として、「学問分野の最先端の知識、教材を使いこなす能力、学生とのコミュニケーション力、情報伝達能力、粘り強く思考し、その情熱を学生に伝達する力、よく学生の顔を見ながら、人間として感受性に富み、誠実で温かい人格など」が求められる。その達成のためのFD活動が、様々な形態で展開されている。このことからその基礎的資料となる授業評価アンケートは重要な位置を占めている。

本学では開講されている全授業の「授業評価アンケート」を、前期後期のそれぞれの学期末に行うことを原則としている。ここでは、平成二十七年後期に行われた結果を以下の図表に示している。

アンケートの主要部分は、学生の自己評価五項目と授業評価八項目に分かれている(図表参照)。また、この集計結果を基に、各授業担当者は、「授業改善計画書」によって改善計画を立てることになっている。

一 調査結果の概観

学生の自己評価は、主に授業に臨む自分の積極性を問うものである。ここでは、「積極的に質問したか」に対して、平均値は五段階の四・〇二と一番低い値を示したが、全て四を上回るなど、前年度以上に高い平均値が出た。さらに、最後の「考え方・知識・技術は向上したか」は、成果を直接的に問う項目であるが、これについても、全体で四・五を上回っている。

授業評価については、授業を構成する要素を全八項目に分けて設け、最後にその授業への満足度を問う内容である。これらについても、前年度同様に、

全ての項目について平均値で四を上回っている。最後の授業への満足度は、この調査の核とも言える設問であるが、これについても、全体で四・五を上回る高い値を示している。これらは、アンケート結果を受け、指導法や教材の工夫等、年々授業改善を加えている各授業担当者の努力の結果と思われる。

また、自由記述欄からも高い数値を示した様子がうかがえる。
(主な意見)
○興味深い活動が多く意義深い講義であった
○職業に対する知識と考え方が向上しました！自分の未来へつなげられるように頑張ります
○この授業を通して自分の考え方に変化があったと思います。半年ぐらいかけてゆっくりやりたいと思う授業でした。
○興味が高かった分野でしたが先生のおかげで興味を持つことが出来ました。
○知らないことがたくさんあって、毎回とても面白かったです！本の修理やブックトークなど参加型で楽しく取り組みました。ありがとうございました。
○個性豊かな先生方のいろいろな話が聞けて楽しかったです。
○授業に出るたびに色々なことを考えさせられました。盾の話を面白かったです。

改善書のなかには、すでに具体的な方策を記述しているものも多いが、まだ模索しているものもある。本学の主なFD活動は、FD委員を中心とした各機関が開催する研修会参加、専任教員を対象とした全体研修会(平成二十八年九月実施)及び学生向けアンケートを改善して平成二十八年前期から実施している。今後は、時間的な課題を工夫しながら各学科・コース別に授業改善に関する授業公開、研究討議を行うしていく必要性を実感している。

三 短期大学共通学生調査アンケート
学生の意識調査を通して、今回、短期大学共通学生調査アンケートに参加し、全国的な傾向と比較する意味も含めて学生の意識調査を実施した。紙面の関係上、特徴的な点を紹介する。

調査項目は、小項目を入れると三三項目にわたるアンケートである。①今の短大に進学を決めたときの理由について
「自分の興味があることや専門分野の内容が学べる」は、七四％と高い値を示した。次に、「四年制大学に編入できる」が、六九％と全国平均より五〇％も高い値を示した。國學院大學への編入者が例年一二〇名程度いるという本学の特色を進学を決め手にした学生が多いという実態を示している。次に、「就職するのに必要な資格が取れる」が五四％と高かった。

二 「授業改善計画書」から
「授業改善計画書」は、個々の授業のアンケート集計結果に基づいて書くことを求めている。本学は少人数指導が特徴で、受講者が十人前後の授業も多い。したがって、集計結果を単に数値でとらえることはできない。各授業者の改善計画書には、それを踏まえながら、どれもアンケート結果を謙虚に受けとめ、改善に意欲的な姿勢が見られた。

②受講した授業の内容について
「パソコンなどの情報機器を使う」九〇％、「宿題や課題」八二％、「学生同士でディスカッションをする」八一％と全国平均と同様の傾向となった。
③今学期の一週間で、講義やアルバイトにどのくらい時間を費やしたか
「講義を受けた時間一〜二五時間」は、六六％と全国と比べると一五％も高い比率を示した。このこ

とから、本学の学生は、他の短大生より多くの単位を取得していることが値として出た。編入や資格に関わる単位を多くの学生が取得していることが分かる。「アルバイト」の時間は、一時間〜一五時間と全国と同程度であった。
④今の短大に入学して、先生との間で話しかけようと思ったか
「就職や編入などの進路相談」八九％、「授業や学習内容に関することを話す」が六三％と、両方とも全国より一〇％高い値を示した。少数指導の良さを生かして教員も学生との触れ合いやコミュニケーションを重視していることが分かる。
⑤本学の教育にどの程度満足しているか
「専門科目の授業」「共通科目ある授業」は「教養科目の授業」は五〇％と、全国平均と同程度であるが、「サークルや部活」は、四三％と、全国比より三〇％高い値を示した。
⑥今の短大に入学して能力や知識はどの程度変化(向上)したか

「専門分野や学科の知識」八五％「一般的な教養」七五％と全国平均と同程度であるが、「文章(レポートなど)を書く力」が七〇％と高い値を示したのは、本学の特色である。⑦学生生活は充実しているか
「充実している」六一％と全国比より高い値を示した。しかし、十％の学生が「あまり充実していない」と答え、全国平均と同程度であった。学生生活は、授業への意欲へとなが重要な基盤となることから理由を分析し、対応する必要がある。
⑧本学を親しい友人や後輩、親せきにすすめられるか
「すすめられる・ややすめられる」は、四〇％と全国比と同程度であった。「あまりすすめられない・すすめられない」も全国比と同程度の二九％であった。三割近くの学生の意見を重く受け止め、教育内容の充実や魅力づくりを進める必要がある。
⑨総合評価(他の学生について)
「親しみやすい・やや親しみやすい」五九％

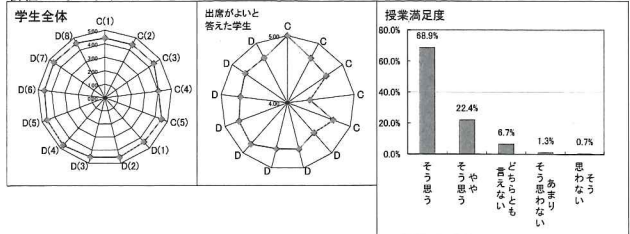
「総合評価(先生)」
「親しみやすい・やや親しみやすい」五九％
十分学べている・少し学べている一五七％
授業の目的・目標や形態等、授業の特質によって授業の受け方、学び方等は大きく異なってくる。前期後期のそれぞれの学期末に行うアンケートにどう回答するか、各項目ごとの評価の観点が大きく異なるところである。それらを理解した上で回答させることが、この調査の目的にさらに近づく一つの方法ではなかろうか。そのためには、学期末のみにこの調査用紙に触れるのではなく、授業のスタート時等に授業の目的や方法を学生と授業者で共有するツールとして活用することも考えられる。これは、学生の自己理解を深め、努力目標をより確かなものにしていく基盤として期待できる。

FD委員会委員長 田代 雄一

学生による授業評価アンケート結果(2015年度後期)

科目名 教員名		全体資料		開講コード 履修者数 回収数		3500			
A 履修動機									
必修科目	1757	50.2%	その他内訳		307	50.7%			
資格取得科目	431	12.3%	興味を持った	138	22.8%				
編入学対応	676	19.3%	単位が取得しやすい	21	3.5%				
その他	605	17.3%	特になし	92	15.2%				
			その他	38	6.3%				
履修動機				その他の内訳					
C(自己評価)									
	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらか を好む	あまり 好まない	そう 好まない	該当 無し	有効 回答	無効 回答
(1) この授業への出席状況は良かったですか。	4.43	2196	838	278	132	54	0	3498	2
(2) この授業に意欲的に取り組めましたか。	4.44	2054	1038	307	71	27	0	3497	3
(3) 受講態度はよかったですか。	4.44	2045	1046	321	60	22	0	3494	6
(4) 先生に授業に内容などで積極的に質問することがありましたか。	4.02	1049	596	381	164	96	1209	3495	5
(5) この授業を通じてあなたの考え方・技術・知識などが向上しましたか。	4.53	2205	994	232	40	19	0	3490	10
D(授業評価)									
	平均値	そう思う	やや そう思う	どちらか を好む	あまり 好まない	そう 好まない	該当 無し	有効 回答	無効 回答
(1) 板書はわかりやすかったですか。	4.39	1484	683	249	68	36	0	3490	10
(2) 先生の教え方は良かったですか。	4.55	2323	878	222	46	26	0	3495	5
(3) 授業はわかりやすかったですか。	4.54	2286	880	247	50	23	0	3496	4
(4) 先生に意欲を感じましたか。	4.70	2651	657	144	16	13	0	3481	19
(5) 教科書・参考書・IT機器などは効果的に使われていましたか。	4.61	1759	572	151	16	15	971	3484	16
(6) 授業にふさわしい雰囲気は保たれていましたか。	4.55	2326	842	252	38	24	0	3482	18
(7) 先生は質問に適切に答えてくれましたか。	4.62	1718	491	157	14	16	1092	3489	12
(8) 全体としてこの授業に満足できましたか。	4.57	2402	780	232	46	25	0	3485	15

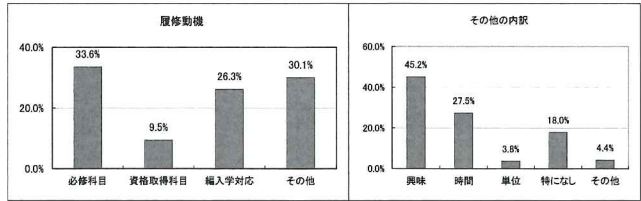
評価リーダーチャート



学生による授業評価アンケート結果(2015年度後期)

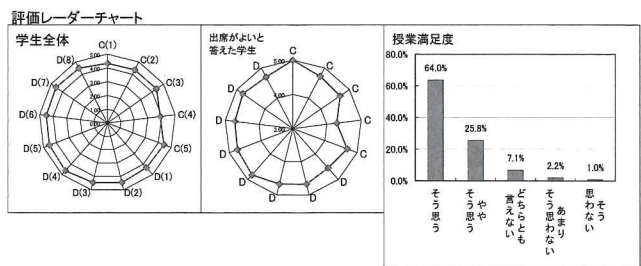
科目名 教員名	総合教養学科	開講コード	履修者数 回収数
			1219

履修動機	割合	その他内訳	割合
必修科目	410 33.6%	興味を持った	166 45.2%
資格取得科目	116 9.5%	時間が空いていた	101 27.5%
編入学対応	320 26.3%	単位が取得しやすいそう	14 3.8%
その他	367 30.1%	特になし	66 18.0%
		その他	16 4.4%



C(自己評価)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思う	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
(1) この授業への出席状況は良かったですか。	4.33	666	368	121	58	8	0	1219	0
(2) この授業に意欲的に取り組めましたか。	4.37	633	430	130	23	3	0	1219	0
(3) 受講態度は良かったですか。	4.37	627	440	127	17	6	0	1217	2
(4) 先生に授業に内容などで積極的に質問することがありましたか。	3.90	333	221	145	65	46	408	1218	1
(5) この授業を通じてあなたの考え方・技術・知識などが向上しましたか。	4.43	678	419	90	22	8	0	1217	2

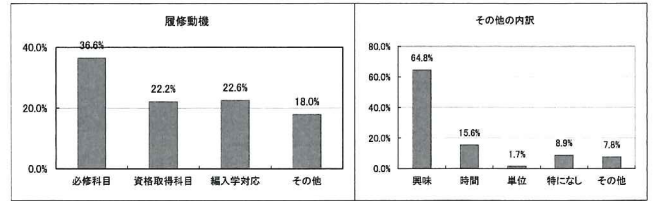
D(授業評価)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思う	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
(1) 板書はわかりやすかったですか。	4.33	584	304	120	33	15	163	1219	0
(2) 先生の教え方は良かったですか。	4.46	743	346	86	30	14	0	1219	0
(3) 授業はわかりやすかったですか。	4.46	746	336	99	28	10	0	1219	0
(4) 先生に意欲を感じられましたか。	4.63	854	290	57	4	8	0	1213	6
(5) 教科書・参考書・IT機器などは効果的に使われていましたか。	4.54	827	242	75	5	8	282	1219	0
(6) 授業にふさわしい雰囲気は保たれていましたか。	4.51	759	352	82	12	10	0	1215	4
(7) 先生は質問に適切に答えてくれましたか。	4.57	579	202	56	6	9	366	1218	1
(8) 全体としての授業に満足できましたか。	4.50	779	314	86	27	12	0	1218	1



学生による授業評価アンケート結果(2015年度後期)

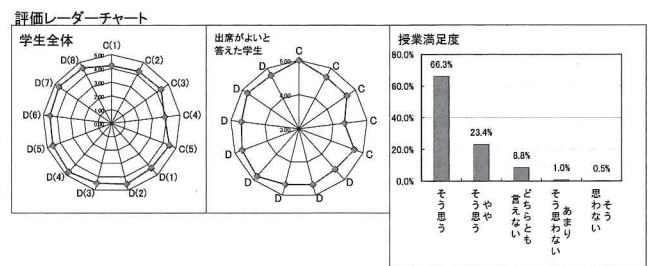
科目名 教員名	国文学科	開講コード	履修者数 回収数
			995

履修動機	割合	その他内訳	割合
必修科目	364 36.6%	興味を持った	116 64.8%
資格取得科目	221 22.2%	時間が空いていた	28 15.6%
編入学対応	225 22.6%	単位が取得しやすいそう	3 1.7%
その他	179 18.0%	特になし	16 8.9%
		その他	14 7.8%



C(自己評価)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思う	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
(1) この授業への出席状況は良かったですか。	4.20	533	261	106	55	40	0	995	0
(2) この授業に意欲的に取り組めましたか。	4.27	508	318	113	34	21	0	994	1
(3) 受講態度は良かったですか。	4.35	544	305	102	29	13	0	993	2
(4) 先生に授業に内容などで積極的に質問することがありましたか。	3.87	228	142	105	52	31	435	993	2
(5) この授業を通じてあなたの考え方・技術・知識などが向上しましたか。	4.47	591	305	76	13	7	0	992	3

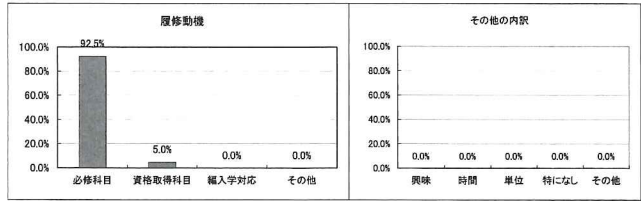
D(授業評価)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思う	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
(1) 板書はわかりやすかったですか。	4.35	426	214	76	20	16	242	994	1
(2) 先生の教え方は良かったですか。	4.54	641	262	77	5	7	0	992	3
(3) 授業はわかりやすかったですか。	4.49	612	281	84	10	6	0	993	2
(4) 先生に意欲を感じられましたか。	4.72	767	174	45	1	2	0	989	6
(5) 教科書・参考書・IT機器などは効果的に使われていましたか。	4.58	488	179	52	4	3	260	986	9
(6) 授業にふさわしい雰囲気は保たれていましたか。	4.53	642	242	86	11	3	0	986	9
(7) 先生は質問に適切に答えてくれましたか。	4.67	446	114	37	0	2	390	989	6
(8) 全体としての授業に満足できましたか。	4.54	654	231	87	10	5	0	987	8



学生による授業評価アンケート結果(2015年度後期)

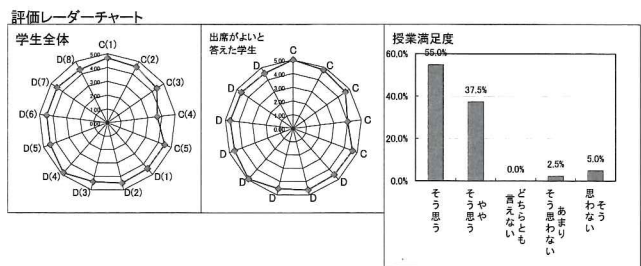
科目名 教員名	専攻科福祉専攻	開講コード	履修者数 回収数
			40

履修動機	割合	その他内訳	割合
必修科目	37 92.5%	興味を持った	#DIV/0!
資格取得科目	2 5.0%	時間が空いていた	#DIV/0!
編入学対応		単位が取得しやすいそう	#DIV/0!
その他		特になし	#DIV/0!
		その他	#DIV/0!



C(自己評価)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思う	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
(1) この授業への出席状況は良かったですか。	4.70	30	8	2	0	0	0	40	0
(2) この授業に意欲的に取り組めましたか。	4.58	25	13	2	0	0	0	40	0
(3) 受講態度は良かったですか。	4.40	24	10	4	2	0	0	40	0
(4) 先生に授業に内容などで積極的に質問することがありましたか。	3.68	16	5	10	8	1	0	40	0
(5) この授業を通じてあなたの考え方・技術・知識などが向上しましたか。	4.48	21	17	2	0	0	0	40	0

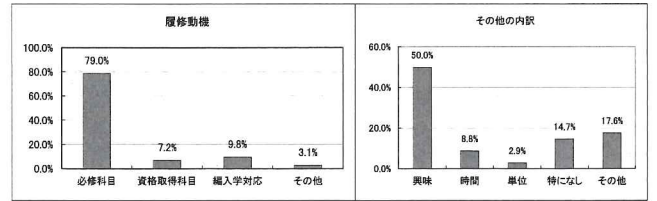
D(授業評価)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思う	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
(1) 板書はわかりやすかったですか。	4.43	15	5	1	2	0	17	40	0
(2) 先生の教え方は良かったですか。	4.50	28	9	0	1	2	0	40	0
(3) 授業はわかりやすかったですか。	4.40	25	11	1	1	2	0	40	0
(4) 先生に意欲を感じられましたか。	4.85	36	3	0	1	0	0	40	0
(5) 教科書・参考書・IT機器などは効果的に使われていましたか。	4.47	23	6	0	1	2	7	39	1
(6) 授業にふさわしい雰囲気は保たれていましたか。	4.49	27	9	0	1	2	0	39	1
(7) 先生は質問に適切に答えてくれましたか。	4.49	28	7	1	1	2	1	40	0
(8) 全体としての授業に満足できましたか。	4.35	22	15	0	1	2	0	40	0



学生による授業評価アンケート結果(2015年度後期)

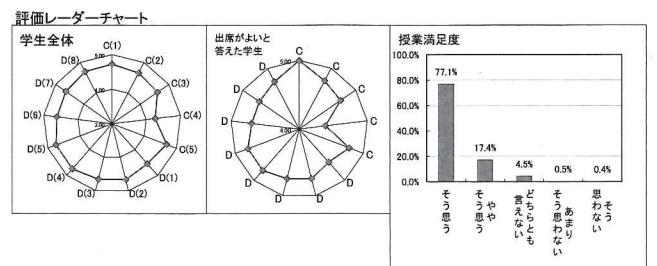
科目名 教員名	幼児・児童教育学科	開講コード	履修者数 回収数
			1104

履修動機	割合	その他内訳	割合
必修科目	872 79.0%	興味を持った	17 50.0%
資格取得科目	79 7.2%	時間が空いていた	3 8.8%
編入学対応	108 9.8%	単位が取得しやすいそう	1 2.9%
その他	34 3.1%	特になし	5 14.7%
		その他	6 17.6%



C(自己評価)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思う	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
(1) この授業への出席状況は良かったですか。	4.73	881	169	35	13	6	0	1104	0
(2) この授業に意欲的に取り組めましたか。	4.66	807	236	49	9	3	0	1104	0
(3) 受講態度は良かったですか。	4.60	770	245	77	9	3	0	1104	0
(4) 先生に授業に内容などで積極的に質問することがありましたか。	4.27	428	195	106	35	15	325	1104	0
(5) この授業を通じてあなたの考え方・技術・知識などが向上しましたか。	4.69	831	212	51	4	3	0	1101	3

D(授業評価)	平均値	そう思う	ややそう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思う	そう思わない	該当無し	有効回答	無効回答
(1) 板書はわかりやすかったですか。	4.55	398	130	41	12	4	512	1097	7
(2) 先生の教え方は良かったですか。	4.67	811	230	52	10	1	0	1104	0
(3) 授業はわかりやすかったですか。	4.66	812	225	53	11	3	0	1104	0
(4) 先生に意欲を感じられましたか。	4.75	889	164	33	10	3	0	1099	5
(5) 教科書・参考書・IT機器などは効果的に使われていましたか。	4.75	547	124	14	5	2	407	1099	5
(6) 授業にふさわしい雰囲気は保たれていましたか。	4.62	801	213	68	12	8	0	1102	2
(7) 先生は質問に適切に答えてくれましたか。	4.64	590	150	55	6	3	297	1101	3
(8) 全体としての授業に満足できましたか。	4.70	849	192	50	6	4	0	1101	3



セミナーCATY 「Haiku Garden」を開催

八月七日(日)、紀伊國屋書店札幌本店インナーガーデンにて、平成二十八年度セミナーCATY「Haiku Garden」を開催した。

この「セミナーCATY」は、例年小樽商科大学札幌サテライト講義室や、今回のように紀伊國屋書店札幌本店インナーガーデンをお借りして、古典・文学・歴史・健康づくりなど様々なテーマで開講している市民向け講座。

今回は、滝川市が主催している参加型句会ライブ「Haiku Bar」の開催にあわせ、同様の形で「Haiku Garden」として札幌で行うこととなった。



ホストとしてNHK俳句選者や又吉直樹氏との共著『芸人と俳人』(集英社)などで脚光を浴びる俳人・堀本裕樹氏、ゲストとして角川短歌賞や札幌市文化奨励賞などを受賞した歌人・

山田 航氏をお招きして、観客の皆さんに事前にご提出いただいた俳句について投票・批評し合った。司会は本学国文学科教授で、第三十回北海道新聞短歌賞佳作を受賞した歌人・月岡道晴が務めた。



約三十五名の方にご参加いただき、「句会に初めて参加したが、方法がわかり楽しかった」「久々に俳句に触れ、また始めてみたいと思った」「来年もまた開催して欲しい」など、満足した声を沢山聞くことができた。投句のあった二十九句から、参加者にそれぞれ特選一句、佳作二句を選出していた。結果、最も得点を集めた俳句の詠み手には、賞品の図書カードが贈呈された。堀本賞(堀本氏が特選に選んだ句)・月岡賞・山田賞に選ばれた句の詠み手には、それぞれのサイン入り著書が贈呈された。

学生団体紹介 軟式野球部



私たち國學院短大軟式野球部は二年生八人、一年生八人、マネージャー七人の合計二十三名で週三日グラウンドで練習を行っています。冬は体育館を使って走り込みや投げ込み、ノックなどやれる練習を行っています。

公的資金不正防止のためのコンプライアンス教育を実施

平成二十八七月二十一日、本学教授会終了後に、教員(研究者)と関係職員を対象にした公的資金不正防止のためのコンプライアンス(法令遵守)教育を実施した。

アンズ推進責任者の平野泰樹副学長のもと、公的研究費の適正な管理運営に努めてきたところである。しかしながら、依然として公的研究費の不正使用が社会問題となっており、文部科学省では「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」を改正し、不正防止のための規程制定やコンプライアンス教育の実施等を義務づけ各大学に一層厳しい管理を求めている。

今回実施したコンプライアンス教育は、それら基準に基づき行ったもので、文部科学省が作成した動画「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」(研究者向け)の「三、不正の基礎知識と事例紹介等」を視聴したあとに、理解度テストを実施した。受講者全員、真剣に取り組んでいた。

本学では、今後も実施計画に基づきコンプライアンス教育の実施と、適正管理に努めます。

また今年の朝野球大会では決勝まで行きましたが、負けてしまいいま優勝になったが、次は控えている連盟の秋季大会で勝って二部に上がれるように部員



FD研修会について

九月十五日に國學院大學教育開発推進機構の中山郁准教授を招聘し、「アクティブラーニングを活かした教育方法への転換」というテーマで一時間半講演をしていただき、本学の専任教職員約三十名が出席しました。

用・セメスター化の推進についても紹介された。講演を聴いた本学のFD委員長である田代教授も「学生にどんな能力を身に付けさせるかを含めた視点をもう一度検討し、カリキュラム改正やCAP制の制定等も早急に対応しなければならぬ」と意気込んでいました。

後期行事予定

- 【平成28年】
- 10月3日 後期授業開始
 - 17日 11月25日 介護実習Ⅱ(専攻科福祉専攻)
 - 27日 楽しい発表会(幼児・児童教育学科・保健コース)
 - 29日 作文コンテスト表彰式
 - 11月4日 法人創立記念日(授業あり)
 - 12月12日 ICD(総合教養学科)卒業論文発表会(国文学科)
 - 17日 研究発表会(総合教養学科)
 - 22日 年内授業終了日
 - 23日 1月4日 冬季休業
 - 28日 1月4日 校舎閉鎖
- 【平成29年】
- 1月5日 授業再開
 - 18日 個人研究発表会・介護研修会(専攻科福祉専攻)
 - 31日 初等教育研究会(幼児・児童教育学科・保健コース)
 - 2月1日 補講日
 - 2日 4日 補講日
 - 4日 後期通常授業終了
 - 6月11日 定期試験期間
 - 13月19日 集中講義
 - 15日 卒業時共通試験(専攻科福祉専攻)
 - 20日 22日 追・再試験日
 - 27日 3月17日 インターンシップ
 - 3月19日 卒業式